

(再開 午前10時40分)

議長（勝山 正）

休憩前に引き続き会議を開きます。

8番、山崎栄喜議員。

(「はい、議長。8番。」の声あり)

(8番 山崎栄喜 議員 登壇)

1. 財政計画について

8番 山崎栄喜 議員

発言を許されましたので、2項目について質問をいたします。

最初の質問、財政計画について質問します。

11月20日に開催されました議会全員協議会に、計画期間が令和8年度から令和11年度までの4年間の財政計画が示されました。これによると、令和8年度から令和11年度までの4年間の一般会計歳入合計から歳出合計を差し引いた収支不足額の合計(100万円未満は切り捨て)は、19億1,100万円になります。1年平均では、実に4億7,700万円の財源が不足することになります。

この不足を補うために基金を取り崩して、穴埋めすることとしていますが、普通会計の基金残高の推計によると、財政調整基金が令和6年度末決算額で9億9,400万円あったものが、令和11年度末にはマイナス1億8,500万円になります。12ある普通会計の基金の合計を見ても、令和6年度末決算額が29億5,000万円であったものが、令和11年度末には15億300万円になる見込みであります。

そこで、次の点について村長に伺います。

1点目、財政調整基金が令和10年度末でほぼ枯渇し、また、普通会計の基金全体の額が令和11年度末には、令和6年度末の約半分になる見込みであり、私は村の将来に対して非常に不安を感じます。この財政計画で、将来にわたって健全財政が維持できるのか、村長の見解をお聞きします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

財政計画についてのご質問であります。各課で必要な事業を計画して、それを現時点で精査して4年間の計画を示した実施計画を基にして作成したものであります。その中で、収支不足額については、基金を取り崩していくところになりますというものを推計した計画となっております。

財政調整基金を始め、目的基金の取扱いについては、突然の災害や緊急時の支出等に支障が出ないよう、毎年行う実施計画の見直しの段階で事務事業評価を基にした事業の見直し、事業の精査、経費の削減などを行いながら、健全な財政運営の維持を目指していくこととしております。

現段階、財政状況の厳しさはあるにせよ大きな支障はないと考えておりますが、将来を見据えて支障が出ないよう、毎年事業の精査をしていく中で支障がでないように取り組んでまいりたいと考えております。

なお、毎年度の当初予算でも、不測の事態に備え、最も大きな財源であります地方普通交付税の一部を内部留保として確保し、不足分は財政調整基金を取り崩して財源としております。実施計画においても、同様な形で積算しておりますので、年度末にできるだけ多く積み残すことで基金の維持を図ってまいりたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

いろいろ答弁いただきましたが、後段の答弁につきましては、また後の質問のところで触れさせていただきます。再質問でございますが、前段申し上げたように、令和6年度決算額では、財政調整基金の額が約10億円、12基金合計で約30億円ありました。これを計画最終年度の令和11年度末にどのくらいの額を残すことができるか。先ほど交付税の留保財源があるというお話もいただきましたが、村長の見解をお聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

先ほど申し上げました普通交付税の内部留保分ということですが、たしか以前、財政計画と当初予算の整合性をとるべきだというご意見があった、そのこともあって、今は当初予算ベースで財政計画を作成しているということになります。

この毎年当初予算では、普通交付税の多くを、具体的には2億強を内部留保として確保しています。そうすると、その不足分を財政調整基金で取り崩すということになりますが、財政計画では、そのうち約半分の、具体的には6,000万ずつを翌年度の繰越財源、そして、さらに6,000万を財政計画の財政調整基金への積立金としているわけでありまして。そうすると、突発的な支出がない場合には、普通交付税の内部留保分からその分を差し引いた分が財政調整基金の減少分になるということになります。具体的に数値がどうというのはここで言われてもすぐに計算できませんが、いずれにしても、これまでの経過を考えると、内部留保していた分を繰越財源、それからまた、積み戻しという形で財政計画より多く積み戻ししている。そのようなことで、財政調整基金の維持を図っております。

これからもできるだけそのような形で積み戻しを維持することで、財政調整基金の目減りをしないようにしていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

再々質問させていただきます。

3年前の令和4年に作成されました、令和5年度から令和9年度までの5年間の収支不足額が、11億1,600万円でありまして、1年平均で2億2,300万円だったものが、前段申し上げましたように、今年の計画では、令和8年度から令和11年度末までの4年間で19億1,100万円、1年平均にすると4億7,700万円になります。1年平均の収支不足額分が3年前の計画の実に2倍以上に膨れ上がっております。そういうことで、大変支出が膨れ上がってきているという状況にあるわけでございます。

そこで質問ですが、後の質問でも申し上げますが、馬曲温泉とファームスの部分が今の中では加味されていないということで、それが増えると、更にこの事業費が膨らんでくるということになるわけでございます。あつた方がよいというのは十分理解するところでございますが、それとできるかどうかは別の話だと思います。厳しい財政状況の中で、これで本当に健全財政が維持できるのか心配でありませんが、見解をお聞きします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

馬曲温泉、道の駅ファームス木島平についても現時点で結論は出ておりませんが、いずれにしても、多額の事業費を要する分については、補助金それからまた過疎債等、できるだけ村の一般財源の持ち出しがない形で事業を進めていきたいと考えております。

財政規模そのものが大きくなっているということもありますが、それらについてもしっかりと財源の確保を図りながら、先ほど申しあげました基金の目減りを抑えていくことで、健全な財政運営を図っていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

再々再質問させていただきますが、補助金や過疎債は当然活用するのがベストだと思いますが、さりとて一般財源も伴うわけでございます。交付税の留保分もあるということですが、本当に大丈夫かという気がいたします。

そこで、提案をさせていただきますが、今の計画だと村民の皆さんや私は不安を感じる人が多いのではないかと思います。ぜひ安心できるように、次の財政計画からこの交付税の留保分を加味した計画書を作成していただきたいと思いますが、見解をお聞きします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

村としてもそのつもりでおります。最初に申しあげましたが、以前、財政計画と当初予算編成、ちょっと見込みが違うのではないかというご指摘を受けて、今のような財政計画の積立となっておりますが、先ほど申しあげましたとおり、地方交付税の内部留保分を、言ってみれば財政計画上もっと正確に現状にあった額にすることで、改めて試算し財政計画を立てていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

つぎに、2点目の質問に入ります。

令和10年度末には財政調整基金が4,200万円、令和11年度末にはマイナス1億8,500万円となる見込みであります。財政調整基金の用途を、先ほど村長から若干答弁をいただきましたが、どう捉えておられるのか、通告に基づいて質問をさせていただきます。また、この財源不足をどうやって補うのかも合わせてお伺いいたします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

先ほどのご質問の答弁の中で答えたことがほとんどになるわけですが、当初予算を組むにあたって、やはり不測の事態に備えて内部留保が必要だと考えております。

そしてまた、歳入についてはできるだけしっかりと、過度な見込みにならないように予算編成をしているつもりであります。支出についても削減を計りながら計画を作っていますが、予算がなくて事

業が執行できないという状況にならないよう、それも合わせて考えていく必要があります。

そんなことで、収入をしっかりと確保しながら支出をできるだけ削減していく、そしてまた、不要な部分については削減するなどしながら内部留保分をしっかりと残すことで、財政調整基金の維持を図っていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

それでは、再質問させていただきますが、基金条例の使途が5点ありまして、財政調整基金の関係ですが、使途の1番目には「経済事情の著しい変動等により財源が著しく不足する場合において、当該不足分を充当するための経費にする」と記載があります。

これでいくと、この目的使途から外れているような気がいたしますが、単年度なら理解するところもございしますが、これが恒常的にしかも多額に取崩しを行うのは、いかがなものかという気がします。見解をお聞きしたいと思っております。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

財政調整基金の取崩しについては、その条例にしっかりと沿っていると考えております。先ほどから申し上げますとおり、交付税の内部留保分を不測の事態に備えて収入を低く見積もる、その分を財政調整基金の取崩しで予算編成を行うということですので、財政調整基金については、災害があったからそれを取り崩すという意味ではなくて、あくまでも財政を調整する基金ということですので、本来の目的に沿って活用していると思っております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

ちょっと私の解釈とは違いますが、3点目の質問に入らせていただきます。

財政の基本は「入るを量りて出ざるを為す（制す）」とも言われます。事業の選択と集中により、もって歳出削減を図る必要があると思っておりますが、どうでしょうか。また、歳出削減のための対策を考えておられるのか、お聞きいたします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

これまでもお答えしてきましたが、事業の取捨選択については必要不可欠だと思います。事務事業評価による事業の見直しを行うことはもちろんであります。決算状況や例年行っている事業等も踏まえ、もう一度見直しをして事業の必要性等も検討してまいります。ただし、削減だけにこだわって事業が滞ることがないように進めてまいりたいと考えております。

先ほど申し上げましたが、財源確保については、各課で補助金や各種制度を利用しながらしっかりと収入確保する取組を進めていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

再質問させていただきます。

先ほどから申し上げているとおり、事業費はかなり膨らんでいます。それに対して、対策については目新しいものがないように思いましたが、通常でも年度途中で公共施設の修繕等が出てきますし、人件費も毎年増高しています。そんな状況の中で、本当に安心してこの財政運営ができるのかどうかというのは心配なことでございます。そのへんお聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

財政規模が膨らんでいるというのは、正直申し上げますと全国的な傾向なのかなど。特に人件費の高騰等は大きな課題になっております。そんなことで、それぞれ全国の市町村、県も含めて、交付税措置をしっかりとしてもらいながら、安定的な職場の確保を図りながらそれぞれ健全財政を維持する、そのための要望等も進めております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

つぎに、4点目の質問です。

健全財政を維持するために、行財政改革推進委員会を開催して検討する必要があると思いますが、見解をお聞きします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

現時点で、国等が定めている健全化判断比率4指標において、いずれも早期健全化基準を下回っている状況であります。財政状況は厳しいわけですが、事業の見直し等については、随時行いながら、必要な時点で検討しまいたいと考えております。現時点で行財政改革推進委員会等は考えておりません。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

「現在のところは考えていない」という答弁でございましたが、健全化比率が基準を下回っているということは私も理解をしておりますが、そこに達してから対策を打つのでは遅いので、ぜひ早めの対応が必要だと思います。今は考えがないということでございますので、財政当局で責任を持ってしっかりと対応していただきたいと思います。

5点目の質問ですが、村長の意向としては、道の駅ファーム木島平の再整備と馬曲温泉を再開したいものと推察いたしますが、仮の話として、①道の駅ファーム木島平の再整備、②馬曲温泉について、指定管理による運営のために施設の改修等を村が行うこととした場合の影響力と、将来にわたって健全財政が維持できるのかどうか、お聞きいたします。

議長（勝山 正）

日臺村長。

村長（日臺正博）

道の駅ファームス木島平については、ぜひまた村民の皆さんのご理解をいただける形で取組を進めてまいりたいと考えておりますが、馬曲温泉については、現時点で全く決まったものではありません。

いずれにしても、両施設がありきではなく、やはり村の健全財政を維持できる範囲で施設の維持管理を行っていくべきものだと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

2. 実施計画について

8番 山崎栄喜 議員

それでは、次の2点目の質問、実施計画について質問いたします。

11月20日開催の議会全員協議会に、令和8年度から令和11年度までの第7次総合振興計画の実施計画が示されました。この計画は、令和8年度から令和11年度までの4年間に村が行う事業をまとめたものであり、これが財政計画に反映されることとなります。

限りある財源の中で、村はインフラの維持・整備、村民の健康の維持・増進、福祉の向上、産業・教育の振興など数多くの事業を行います。それだけお金も必要となります。

そこで、次の点について村長に伺います。

1点目、社会福祉法人運営支援補助金として、令和8年度から毎年300万円計画されていますが、これは社会福祉協議会への補助金か、お聞きをいたします。

議長（勝山 正）

梅寄民生課長。

民生課長（梅寄伸一）

ご質問いただきました300万円については、村社会福祉協議会への運営補助として計上したものでございます。

村社会福祉協議会は、地域福祉事業を始め、介護保険や障害事業を実施する事業会計、法人全体を運営するための法人運営の3本の柱で運営をしております。村ではこれまで、本来、村で実施すべき地域福祉事業を社協で実施していただくための委託料等へのお支払いをしてきたところであり、近年の物価上昇に伴う光熱水費など資材費の高騰、人件費等の高騰及びサービスご利用者の変動等が社協全体の経営を圧迫してきました。

村ではこの間、社協と共に経営改善に向けた取組等へのサポートに努めてきたところであり、今年度、上半期の報告を受けるところでは一定の改善の状況も見られるところです。しかしながら、黒字化へ転換するまでには至らない状況が見込まれることから、村の福祉の最後のセーフティネットである社会福祉協議会の今後の安定的運営を図るため、これまで支援を実施してこなかった法人運営の一部について運営補助を行うことを考えています。

実施計画に計上した 300 万円については、社協から 7 月に提出された財政改善計画に基づき、計上したもので、交付に当たっては、実際の運営状況などを更に精査しながら実施していきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8 番 山崎栄喜 議員

社会福祉協議会の補助金ということでございますが、私もやむを得ないことだと理解をいたしますが、過去の質問におきまして、村長からは「自助努力で最大限の経営改善を求めながら支援する」との答弁がありました。

そこで、どのような努力をされたと確認されたのか。民生課長は、社協の役員を務めておりますので承知していると思いますので、これは村長から答弁いただきたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

経費の節減だけではなく、介護報酬の中で基準を上げて報酬を頂く、サービスの中身を改善するなどしたり、それからまた、経費の節減をしていると聞いております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8 番 山崎栄喜 議員

それでは、補助金の額ですが、300 万円ということで計画されておりますが、先ほど話がありました社協の財政改善計画によりますと、年度毎に額が違っているわけです。令和 8 年度の社協の補助金の額を見ますと、令和 7 年度対比で、令和 8 年度が 360 万円、令和 9 年度が 800 万円、令和 10 年度が 980 万円に増えています。これが全て村の補助金かどうかは定かではありませんが、いずれにしろかなり年々増えているわけですが、これに対して、村の実施計画では、毎年 300 万円という形になっていまして、この 300 万円の補助金で良いのかどうか、お聞きをいたします。

議長（勝山 正）

梅寄民生課長。

民生課長（梅寄伸一）

先ほど山崎議員がおっしゃられた数字、私も細かい数字は持ち合わせていないのですが、おっしゃるとおり、年々上がっていくという数字の改善計画をいただいております。

ただ、村としては、先ほども申し上げたとおり、社協と共に経営改善に向けた取組のサポートを行うということもございまして、今後もより一層、社協としての経営改善に取り組むことを期待しており、その状況を見ながら、また、実施計画につきましても、毎年見直しを行い適正な額を計上していきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

これはあくまでも計画ですので、実際にそのとおりになるかということは全くわからないわけでございまして、状況に応じての話になろうかと思えます。

次の2点目の質問ですが、空き家バンク登録促進補助金として、毎年30万円が計画されておりますが、登録促進とはいえ、補助金まで交付する必要があるのかどうかお尋ねをいたします。

議長（勝山 正）

湯本産業企画室長。

産業企画室長（湯本幸伸）

空き家バンクは、村に移住定住をご希望される方々にとって重要な村の地域資源と言えます。村では、空き家所有者や管理をされている方へ毎年アンケートを実施しているほか、空き家を相続される方が窓口で手続きをされる際には、今後の管理方法や利活用についてご意向をお伺いし、空き家バンクへの登録を勧奨してまいりました。

新規の登録件数は、昨年度は14件、今年度もここまで8件と概ね堅調な数字でございますが、成約件数はそれを上回り、昨年度は19件、今年度も12件となっており、現在の登録物件数は10件となっております。

こういった状況から、移住を希望される方々の受け皿として、また、空き家の解消のため、利活用可能な空き家の登録を促進することが大事だと思っております。そこで新たな補助金を現在検討しており、この補助金につきましては、その効果を検証できるように時限的にすることや、対象を空き家を購入されて住所を移してここにお住まいになられる方に限るなど、限定しながら効果を見極めていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

促進をするということで、なかなか手詰まり感があるという気持ちは持っておりますが、補助金を出すことについては、私はなかなか理解が難しい。登録促進のためだけに補助金を出すというのはいかなものかという気はいたします。

その補助金ですが、考え方として、1件あたりどのぐらいの補助金を予定して、それが今の30万円になるのか、件数と金額を教えてくださいと思います。

議長（勝山 正）

湯本産業企画室長。

産業企画室長（湯本幸伸）

現在、検討しています登録促進のための補助金ですが、空き家を所有される方がバンクに登録をして、また、買っていただく方を村へ住所を移す方に、期間を例えば1年間はこの人たちだけに限定して交渉したいなど、そういったご希望を持っていただいた方について補助を出したいと考えています。

補助の中身は、最終的に契約が決まりますと、概ね仲介事業者、不動産事業者を通じて契約をしていただいておりますけれども、不動産業者の手数料が最低でも33万円、物件が例えば100万円であっても33万円の手数料が法律でかかるようになっております。この手数料の部分に1件10万円を上限くらいにして補助できればと考えております。あくまで、村に定住を希望する方々への物件提供のため

の補助ということを考えております。ご理解いただければと思います。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

それでは、3点目の質問です。

堆肥センターの長寿命化工事を1億6,100万円と大金をかけて、令和8年度に行うことにしておりますが、長寿命化工事を行っても令和15年度までしか持たず、6～7年後にはまた新たな施設を建設しなければならなくなります。

そこで、計画を取りやめて、現在とは違う場所に開放式で新築した方が安上がりにはできるのではないか、つまり無駄遣いにならないのではないかとということで質問をいたしますが、いかがでしょうか。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

現在、進めております堆肥センターの長寿命化については、令和5年11月の議会全員協議会でご説明をし、今年度、設計業務を進めているところであります。

繰り返しになりますが、現在の施設は老朽化が進んでおり、安全面や衛生面からも早急な対応が必要であり、現在のままでは、令和8年度までしか耐えられないと判断されております。このため、令和8年度に長寿命化工事を実施して、施設の耐用年数を延ばすこととしております。

ご指摘のとおり、工事後も令和15年度までしか持たないと言われており、再び新たな施設の建設が必要になります。しかし、現状のままで使い続けることは、安全性や運営面で大きなリスクがあります。そのため、まず長寿命化工事で延命を図り、堆肥化の方法も含めて検討を進めてまいりたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

事業費もかなり増高しているわけでごさいます、なるべく安上がりにはしたい思いがあり、質問をしましたが、このままでは安全面で心配だという答弁がありましたが、来年度中に工事を行わなければ、その建物が持たないのかどうか、確認をさせていただきたいと思います。

議長（勝山 正）

産業課長。

産業課長（本山 等）

このまま使用して令和8年度までしか持たないのかというご質問ですが、こちらにつきましては、令和元年度に堆肥センターの劣化診断調査を行っております。

これについて、議会の方に報告させていただいておりますけれども、鉄骨材のサビによる劣化が多数あるということで、補修を行わなければ令和8年度まで、補修を行えば令和15年度まで引き延ばすことができるという診断結果、この結果に基づいてのものでございます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

そういう報告書はございますが、状況は年々変わってくるだろうとも思いますが、そこで働く職員
の環境改善は大事だと私は考えます。私の個人的な感想かもしれませんが、非常に内部に入ると苦痛
を感じまして、そういうところで働いていただくのは大変だろうと思っています。そういうことで、
今からでもこれを取りやめて違う場所でできれば、その方がいいのではないかと質問しました。

議会の方からも、長寿命化の計画は聞いておりますが、他の場所なり方式ということは、今までも
何回も申し上げていますが、そういう検討を全然されていなかったのかどうかも合わせてお聞きした
いと思います。

議長（勝山 正）

本山産業課長。

産業課長（本山 等）

現在ある建物を取り壊して、新たな施設の検討を別の場所ですという検討はしてきましたが、そ
の選定には至っておりません。場所の選定については慎重に判断すること、また、選定にあたっては
近隣の方のご理解ご協力が必要になってまいりますので、選定には時間が必要だと認識しております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

4点目の質問です。

各区の地区づくり計画で延期された事業があります。その理由と集落数、件数、金額はどのくらい
なのか、お聞きをいたします。

議長（勝山 正）

湯本総務課長。

総務課長（湯本寿男）

今回、要望いただきました事業の中では、村道の改良工事において、令和8年度と9年度に集中し
ていたことから、道路の状況などを確認しまして、可能なものを延長して優先順位を付け、年度で集
中しないよう分散化をさせていただきました。件数は4地区で5件、総額5,628万7千円です。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

現場を見ての判断だと思いますが、地元とすると来年度にできるということで喜んでいただろうと
思います。地元の区の皆さんをがっかりさせないような着実な計画を、ぜひ前段の段階でやってい
ただきたいと思います。ということで、私の質問は終わりとさせていただきます。これについては、答
弁は不要でございます。

議長（勝山 正）

以上で、山崎栄喜議員の質問は終わります。

（終了 午前11時23分）

議長（勝山 正）

ここで暫時休憩とします。

再開は、午前11時35分とします。

（休憩 午前11時23分）